

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	548-1	スポーツ活動振興事業	会計	01	一般会計	
基本	34	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	款	10	教育費	
策			項	06	保健体育費	
			目	01	保健体育総務費	
細目	3	スポーツ活動の推進	細目	102	スポーツ活動振興事業	
細々目			01	スポーツ活動振興事業		
基本計画該当頁		136	行革大綱の重点事項番号		6・7	
担当部課	コード	450800	評価者	松浦正光		
	名称	スポーツ振興課	氏名	連絡先	22 - 9680 (内線) 3835	

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	スポーツに関心のある市民、スポーツを実践している市民 (※対象件数)	多様なスポーツ活動へ個人・団体・地域等での参加する機会が確保される。
根拠法令・要綱等	教育委員会関係補助金等交付要綱	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民スポーツフェスティバルの開催(競技種目=卓球・バレーボール・ソフトボール・綱引・グランドゴルフ・ゲートボール・ターゲットパードゴルフ) 伊賀上野シティマラソンの開催(ハーフ・10km・5km・3km・ジョギング) 忍びの里レディーストーナメントサッカーの開催 青山高原つつじクォーターマラソン大会の開催(10km・5km・3km) 伊賀フットボールクラブへの助成 体育祭りの開催(鳥ヶ原・阿山・大山田・青山) 各種スポーツ大会の開催(いがまち・鳥ヶ原・阿山・大山田) 	<ul style="list-style-type: none"> 市民スポーツフェスティバルに関わって各分室で実施している類似競技大会について、地域での自主行事とし、開催日程を調整してフェスティバルへの参加を促していく必要がある。 つつじマラソンと伊賀上野シティーマラソンについては、開催時期や趣旨が異なることから風物詩的の事業として継続したい トップアスリートを目指すスポーツ活動は、見るスポーツとして市民の意識が向上してきた。 体育祭及び各種スポーツ大会の開催は、分室ごとにこれまで開催してきた事業であるが、事業効果を検証して経費の節減を図る必要がある。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
伊賀フットボールクラブ活動(大会数)	回	目標 52 実績 52	目標 55 実績 55	55	55
参加型事業(市民スポーツフェスティバル・マラ)	回	目標 3 実績 3	目標 3 実績 3	3	3
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
参加者数	各種事業への参加者数による評価	人	目標 4500 実績 4022	目標 4300 実績 4470	4500	4600
観戦者数	観客動員数による評価	人	目標 1500 実績 1200	目標 1200 実績 1300	1500	1700

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	住民が自主的かつ積極的に参加できる多彩なスポーツ活動への機会づくりにより、生きがいや健全な育成を図ることができる。伊賀FCは、伊賀地域を代表する種目のサッカー競技で、トップアスリートを目指す活動の実践と青少年の夢と希望を醸成する組織であり、多くの市民が参加している組織である。伊賀上野シティマラソン及び青山高原つつじマラソンは、共にコースとなる地域の多くの住民がボランティアとなり演出されていると共に、市街地及び集落を走破する伊賀上野マラソンならびに自然豊富な高原道路を走破するつつじマラソンの異質な催しは、伊賀市の風物詩的行事と位置づけたい。
有効性	4	市民スポーツフェスティバルの開催日について、地域の他事業と重複していることから参加者確保に苦慮していることから期日の変更を検討し、参加者増を図る。又、新規の種目の導入を検討し、フェスティバルへの関心を高める。また、開催場所について、各地域に分散して見るスポーツとしての振興をも図る。
達成度	4	参加型及び観戦型スポーツが充実されるとともに、交流する機会が多くなった。
効率性	4	これまでの行政主体から地域主体による行事の開催により、住民総意の事業が展開でき特色ある地域づくりを目指すことができる。又、企業体の協賛参加が進展していることから公費負担の軽減が図られる。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	市民スポーツフェスティバルについては、実施種目のマンネリ化と参加者の固定化傾向から再考の必要がある

進捗状況	年度	平成18年度 決算内容			平成19年度 決算内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額															
委託 工事	事業内容	市民スポーツフェスティバル委託料	1	1,050	市民スポーツフェスティバル委託料	1	1,050	市民スポーツフェスティバル委託料	1	1,000									
		伊賀上野シティマラソン委託料	1	4,000															
		忍びの里レディーストーナメントサッカー大会委託料	1	3,000	忍びの里レディーストーナメントサッカー大会委託料	1	2,463	忍びの里レディーストーナメントサッカー大会委託料	1	2,500									
		伊賀フットボールクラブ助成金	1	3,400	伊賀フットボールクラブ助成金	1	3,000												
		青山高原つつじマラソン委託料	1	1,000															
		市町対抗駅伝	1	538	市町対抗駅伝	1	538	市町対抗駅伝	1	1,000									
		体育祭・スポーツ大会委託料	1	4,396	体育祭・スポーツ大会委託料	1	2,443	体育祭・スポーツ大会委託料	1	1,954	体育祭・スポーツ大会委託料	1	1,900	体育祭・スポーツ大会委託料	1	1,900	体育祭・スポーツ大会委託料	1	1,900
		その他	1	1,328	その他	1	2,831	その他	1	1,639	その他	1	1,700	その他	1	1,700	その他	1	1,700
		事業費計(A)	Σ	18,174	事業費計(A)	Σ	17,325	事業費計(A)	Σ	16,093	事業費計(A)	Σ	16,100	事業費計(A)	Σ	16,100	事業費計(A)	Σ	16,100
		事業投入人員	人件費(B)	1.2	人 8,640	人件費(B)	1.2	人 8,640	人件費(B)	4.0	人 28,800	人件費(B)	3.5	人 25,200	人件費(B)	3.5	人 25,200	人件費(B)	3.5
フルコスト(A)+(B)			26,814			25,965			44,893			41,300			41,300			41,300	

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	18,174	17,325	16,093	16,100	16,100	16,100				
国庫支出金										
県支出金										
地方債										
受益者負担										
その他			5,001	5,001	5,001	5,001				
一般財源	18,174	17,325	11,092	11,099	11,099	11,099				
計	18,174	17,325	16,093	16,100	16,100	16,100				
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・地方債の区分と充当率等		ふるさと創生基金繰入金 5,000千円 日独親善少年サッカー交流基金利子 1千円		ふるさと創生基金繰入金 5,000千円 日独親善少年サッカー交流基金利子 1千円		ふるさと創生基金繰入金 5,000千円 日独親善少年サッカー交流基金利子 1千円		ふるさと創生基金繰入金 5,000千円 日独親善少年サッカー交流基金利子 1千円	